



なみえにじいろこども園卒園式



3月定例会・第1回臨時会(2月)

定例会

議案要旨	P 2
議案審議	P 3 ~ P 5
採決状況・第1回臨時会	P 6 ~ P 7
一般質問	P 8 ~ P 12

委員会のうごき	P 13 ~ P 15
委員会活動報告	P 16 ~ P 17
議会活動状況報告	P 18 ~ P 19
町民の声	P 20

本格復興期最終年度となる 令和2年度当初予算 **可決!**

一般会計 **340億9300万円** (対前年比 ▲54億7800万円 ▲13.8%)

9特別会計 **74億972万4千円** (対前年比 ▲4億2982万5千円 ▲5.5%)

総額 **415億272万4千円** (対前年比 ▲59億782万5千円 ▲12.5%)

● 目的別歳出の主なもの（一般会計）

目的区分	予算額	構成比	対前年比
総務費	36億2825万8千円	10.6%	↓ 63.7%
民生費	25億1814万7千円	7.4%	↓ 0.1%
衛生費	12億7185万3千円	3.7%	↑ 21.7%
労働費	3億7580万3千円	1.1%	↑ 1704.6%
農林水産業費	117億6681万8千円	34.6%	↑ 50.5%
商工費	71億5487万3千円	21.0%	↓ 31.4%
土木費	45億4082万4千円	13.3%	↓ 6.9%
教育費	8億3243万2千円	2.4%	↑ 62.1%

詳細については、広報なみえ4月号「令和2年度予算のあらまし」に掲載されておりますので、これをご参照ください。



前年度当初予算と比較して、予算規模は縮小したものの、町民の皆様が不安に感じている生活環境の充実、医療介護環境の改善及び雇用の場の確保等とともに、帰還や移住定住促進に関しても新たな種を蒔く予算編成となっています。

要旨

3月定例会は、3月5日から17日までの13日間を会期として開催しました。

町長からは、条例の制定・改正、契約の締結・変更、平成31年度補正予算、令和2年度当初予算など58件の議案が提出されました。また、議会からは3件の議案を提出し、これらについて審議を行いました。

議案の主な質疑内容は3～5ページ、審議結果（採決状況）は6～7ページに掲載のとおりです。

【主な議案等の内容】

- 条例改正のうち、**浪江町印鑑条例の一部改正**は、成年後見登記されたことにより印鑑登録が廃止された後に、法定代理人となるべき成年後見人が同行し、成年被後見人が登録する印鑑と本人確認書類を持参のうえ窓口で申請した場合に限り、印鑑登録申請を行うことができることとするものです。
- 町営土地改良事業に要する経費の賦課の免除**については、令和元年10月11日から同月26日までの間の暴風雨及び豪雨による災害により被害を受けた農地及び農業用施設の災害復旧に係る受益者負担分を免除するものです。
- 工事請負契約の締結のうち、**丸ビン式乾燥調製貯蔵施設敷地造成工事とラック式乾燥貯蔵施設敷地造成工事**は、農家ごとに所有していた乾燥調製設備のほとんどが劣化により使用できなくなったため、公設で整備するにあたり土地の造成を行うものです。丸ビン式は苜宿地内に、ラック式は棚塩地内に整備されます。
- 工事請負契約の変更のうち、**町道小熊田宮田線道路改築工事**は、用地交渉や山際からの湧水箇所や水量の多さによる工事施工等に日数を要したため、工期を令和2年3月31日から令和2年7月31日まで延長するものです。
- 補正予算は一般会計ほか6つの特別会計及び水道事業会計を補正するもので、このうち、**一般会計補正予算**は、歳入歳出それぞれ40億1033万4千円減額するもので、これにより予算総額は404億398万1千円となります。

主な質疑内容を報告します。

(囲み数字は議案番号)

条例制定

7 浪江町再生可能エネルギー地域振興基金条例の制定

町内で実施される大規模太陽光発電及びその他の再生可能エネルギー事業の売電収益から拠出される町への寄付金等を積み立て、地域振興に資する資金に充てるため、必要な事項を定めるものです。

質問 (松田) 谷津田地区が500万円、酒井地区が750万円と寄付金年額の差を伺います。

産業振興課長 谷津田の事業者からは町の花弁振興にも協力を得ております。一方、酒井の事業者は農業振興のノウハウや知見がなく、同様の事業協力が困難であり、寄付金を増額する形で差異が生じています。

質問 (紺野榮) 積立期間を20年とした理由を伺います。

産業振興課長 20年を一区切りとし、農地としてお返しする規定です。

質問 (馬場) 20年の間に事業者の変更や撤退などがあった場合の寄付金の継続や撤去時の責任を伺います。

産業振興課長 事業や寄付金の承継を協定で結んでいます。パネルの撤去費用の積み立てや土地の返還等は事業者の責任で行うものです。

(賛成全員で可決)

条例改正

10 人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の改正

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う会計年度任用職員制度の導入により、当該職員のうちフルタイムで任用される者を人事行政の運営等の状況の公表の対象に含めるため、所要の改正を行うものです。

《反対討論》(馬場)

この制度により、正職員との格差を残したまま、義務や規律、処罰だけは正職員並みとなり、

労働者の人権を奪うような人事評価、あるいは制度移行であってはならないことを明確にし、反対討論とします。

(賛成多数で可決)

指定管理者の指定

20 指定管理者の指定(浪江町交流・情報発信拠点施設)

関係条例の規定に基づき選定し、指定管理者の予定者となった一般社団法人まちづくりなみえを、指定管理者として指定するものです。

《反対討論》(山本)

参入業者や収益等の具体的な事業計画も示されず、赤字運営している会社を指名すること自体、町の対応はささくであり、反対討論とします。

(賛成多数で可決)

契約の締結

30 一括受電設備工事 [4510万円]

役場本庁舎で一括受電を行い、浪江診療所、サンシャイン浪江、交流・情報発信拠点に自営線にて配電工事を行うもので、導入により電力需要の平準化と基本料金の削減を図るものです。

質問 (馬場) どのくらいの節電となるのか伺います。

まちづくり整備課長 電気9%、年額48万円ほどの節約が図れます。

質問 (山本) 万が一トラブルが起きた場合、道の駅の運営に支障が出ないか伺います。

まちづくり整備課長 自家発電装置があるため、支障ありません。

(賛成全員で可決)

契約の変更

45 棚塩産産園地整備事業業務委託(その2)

11億9200万円の減
購入土による盛土での設計から、他工事との協議の結果、土の流用が可能になったほか、複数の業務内容に変更

が生じたことにより減額となるものです。

質問 (馬場) 流用土の出どころと安全性を伺います。

産業振興課長 遮蔽土として使用し、請戸地区に保管されていたもので、汚染の心配はありません。空間線量や土の検査を行い、放射線の安全性も確認しています。

質問 (紺野則) 護岸変更による減額の理由を伺います。

産業振興課長 海に排水する吐け口部分の安定した地盤を利用したことにより、コンクリート護岸の形状を変更したためです。

(賛成全員で可決)

補正予算

46 令和元年度一般会計補正予算(第7号)

質問 (山崎) 消防団員減少による報酬減となっていますが、消防団再編等を検討しているか伺います。

総務課長 団長を含めた幹部会や、区長や県等の有識者による再編支援プロジェクトチーム

の会議において、現在の実態に合わせ、活動を維持できる形で再編に向けて検討しています。結論は出ていませんが、引き続き、検討していきます。

質問 (馬場) 役場本庁舎改修工事の入札不調の理由と今後の計画を伺います。

企画財政課長 指名業者全者とも、下請け業者が確保できないという理由で辞退し、さらに制限付一般競争入札でも不調となったものです。来年度の発注に向けて設計内容を見直して進めていきます。

(賛成全員で可決)

当初予算

54令和2年度一般会計予算

質問 (馬場) ①震災記録誌の内容②復興支援員の配置と避難者支援の取り組みを伺います。

総務課長 ①令和2年で震災から10年を迎えることから、避難状況や一部避難指示解除、町内への帰還、復旧状況等、町民の生活や町の復興の様子も含め、統括的に10年間の記録として整理したいと考えています。

生活支援課長

②予算上は今年度同様の17人を見込んでいますが、委託事業者との協議次第では2人減も考えているところです。今年度で住宅や家賃支援が終了することから、生活困窮等福祉分野にノウハウのある地元の実業者を選定中です。復興支援員や関係機関と連携し、生活再建の支援に努めます。

質問 (平本) ①非常用持出袋配布事業②高校の遠距離通学費助成事業の内容と想定件数を伺います。

総務課長 ①町内居住世帯に配布するもので、1000袋を予定しています。中に入れるべき物のリストも添え、防災意識の向上につなげていきます。
教育次長 ②町内から近隣の高校に通学する際の公共機関を利用する費用を支援するもので、5人分を想定しています。

質問 (山本) ①農業PR事業で製作する宣伝材料②紅房桜植栽事業の内容を伺います。

農林水産課長 ①新規就農者の確保及び花を始めとした農業振興をPRするパンフレット、インターネットのウェブサイトを、動画作成会社に依頼し製作します。パンフレットは四半期ごと500部、動画は5分程度のも

のを2本作り、用途によって短く編集することを考えています。
産業振興課長 ②震災前に寄贈のあった1000本のうち残っている200本と、新たに購入する500本の苗木を、いこいの村・丈六公園・道の駅・北産業団地に植栽し、管理していくものです。

質問 (紺野榮) 移住施策として3事業あるが、それぞれの違いと予定件数について伺います。

企画財政課長 移住支援事業は、東京から町内への移住が対象で、1世帯100万円(単身世帯60万円)の2件の想定です。
まちづくり整備課長 定住促進住宅取得事業補助金は、県外または町外から町内への移住者に対し住宅取得の補助をするもので、基本額は100万円です。加算3項目に該当すれば、1項目につき15万円まで最高145万円の5件を想定しています。

農林水産課長 新規就農者確保促進事業は、就農が大前提であり、住宅取得ではなく、賃貸住宅の家賃の補助をするものです。

質問 (山崎) 国勢調査について①調査員・指導員の予定人数及び確保の方法②二地域居住の取扱③調査の周知方法を伺

います。

企画財政課長 ①調査員・指導員はそれぞれ約13人と考えていますが、募集方法などは現段階で決まっています。震災前は、主に統計協議会と町職員に調査員を依頼した経緯があり、それを参考に進めていきます。
②より多く住んでいる市町村を居住地として調査します。
③広報やチラシを活用するほか、復興事業に従事されている建設業者への周知にも努めます。

質問 (松田) ①有害鳥獣駆除事業の前年度比減額の理由②河川敷竹林除去事業に、昨年の台風・大雨で流された流木の処理費用が含まれるかを伺います。

農林水産課長 ①箱罟のリース費用がなくなること、処分ができず埋設していたものを、再度掘り起こして処分する作業が今年度で終わるためです。
まちづくり整備課長 ②処理費用は含まれていません。橋桁などにある流木の処理は、県建設事務所と協議していきます。

質問 (高野) 震災遺構整備事業について①請戸小学校の校舎の活用規模②施設の内容③関連施設の整備予定を伺います。
教育次長 ①校舎はすべて残ります。②校舎1階は、安全対策

策をした上で津波の被災状況が確認できるようにし、2階は映像や音声パネル等の展示や、コミュニティスペースとして休憩場所を検討しています。③校舎脇にトイレや案内の管理棟を新設する予定です。

質問 (佐々木勇) ①出産祝い金の予定人数、対象が第3子以降の理由と見直し②スポーツレクリエーション事業の内容を伺います。

教育次長 ①40人を予定しています。対象は条例によるものです。今後、出生率や他自治体の状況等を研究し、検討を図ります。

町長 ②震災以来10年間、避難により地域のコミュニケーションが困難になり、その修復の一環として位置づけるものです。詳細は決まっていますが、健康増進のために年齢に応じた競技を取り入れ、楽しみながら絆をつないでいただく運動会にしたいと考えています。

《反対討論》(紺野則)

先の12月定例会でも示したとおり、今なお、経済的不安を抱えながらの生活を送っている町民不在の減免条例に裏打ちされた当初予算は、到底認めることができず、反対の討論とします。

《賛成討論》（紺野榮）

原発事故から10年目となる来年度は、復興・創生期間の最終年であり、引き続き、大規模なプロジェクトを実行する町のこの集大成となる予算です。税の問題では、固定資産税は50%負担となりますが、町の財政の健全なくして、町の復興はありません。町も町民も自立しなくてはならない中で、適切な予算であると考へ、賛成討論とします。

《反対討論》（馬場）

第1に、税の減免を最低限継続すべきところ、増税が強行されたこと、第2に、国の法律の流れとは言え、4月からの会計年度任用職員制度導入により、権利や待遇が悪化すること、第3に、帰還困難区域の問題に対し、目に見える形で予算措置されていないことは極めて遺憾であり、反対討論とします。

《賛成討論》（渡邊）

復興関連事業は一定の形を整えつつある中、駅周辺整備の実施計画の新たな取り組みや、帰町された方の生活と健康に配慮した健康関連施設の整備などの予算であり、今後とも町民の声に耳を傾ける着実な計画と事業執行を求めて、賛成討論とします。

（賛成多数で可決）

特別委員会
を
設置

議会基本条例の制定、タブレット議会導入等の議会改革に関する調査・研究を行うため、「議会改革特別委員会」を設置しました。

委員長 泉田 重章
副委員長 石井 悠子
委員

紺野 則夫・平本 佳司
渡邊 泰彦・山本幸一郎
紺野 榮重・佐藤 文子



福島第一原子力発電所構内に保管中のトリチウムを含む処理水の海洋放出に反対する決議

東日本大震災及びこれに伴う原発事故から10年目に入り、今なお多くの町民が避難生活を余儀なくされる中、浪江町の基幹産業である農業、漁業も少しずつでは有るが再開に向けて努力し進んでいる。

しかしながら、今般の「多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会」の報告書は、この努力に水を差すもので漁業者の生産意欲をそぐばかりではなく、今なお残る風評被害に何ら有効な対策もないまま実施すれば、町の存続にも関わる重大な問題である。

報告書では、現実的な処分方法として海洋放出及び水蒸気放出を挙げているが、海洋放出の方がより確実に実施できるとしており、地域住民の感情を無視したものであり、被災者に更なる苦痛を強いるものでもある。

特に、請戸漁港は福島第一原子力発電所から距離的に一番近く、風評被害に最も敏感な場所に位置している。

なおかつ漁業の全面再開を目前にしたこの時期に、原発構内の処理水保管が限界に近づいたからとの理由で、安易に海洋放出をすれば、更なる風評被害を招き、福島県、特に浪江町の漁業関係者の被害は甚大である。

以上の事から、過去に行われた公聴会の発言で大多数を占めた陸上保管を継続し、その間に処理水からのトリチウム除去技術開発を急ぐべきであると判断する。

よって、浪江町議会は福島第一原子力発電所構内に保管中のトリチウムを含む処理水の海洋放出に反対することをここに決議する。

令和2年3月17日

福島県双葉郡浪江町議会



タブレットを
議会に導入すると…

- 情報や資料の行き来、連絡業務が早くなる
- ペーパーレス化による経費削減等事務コストが下がる
- 過去の資料の保管や閲覧が可能になり検索性が上がる

などの効果やメリットが挙げられており、今後、特別委員会にて調査・検討をしていきます。

決
議

福島第一原子力発電所構内に保管中のトリチウムを含む処理水の海洋放出に反対する決議

全会一致で可決し、決議を報道機関に公表しました。

3月定例会の採決状況 (3月16日・17日採決)

議案番号	議案	議席番号 議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	関連ページ
			大浦 泰夫	石井 悠子	高野 武	佐々木 忠寿	半谷 正夫	紺野 則夫	佐々木 勇治	平本 佳司	山崎 博文	渡邊 泰彦	松田 孝司	山本 幸一郎	泉田 重章	紺野 榮重	佐藤 文子	馬場 績	
議案第 7 号	浪江町再生可能エネルギー地域振興基金条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第 8 号	浪江町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 9 号	浪江町表彰条例の一部改正について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 10 号	浪江町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	3
議案第 11 号	職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 12 号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 13 号	東日本大震災等による被災者に対する令和 2 年度の町税の減免に関する条例の一部改正について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 14 号	浪江町駐車場等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 15 号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 16 号	浪江町印鑑条例の一部改正について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第 17 号	浪江町営住宅等条例の一部改正について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 18 号	字の区域の変更について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 19 号	町営土地改良事業に要する経費の賦課の免除について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第 20 号	指定管理者の指定について(浪江町交流・情報発信拠点施設)	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	3
議案第 21 号	浪江町道路線の認定及び廃止について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 22 号	工事請負契約の締結について(丸ピン式乾燥調製貯蔵施設敷地造成工事)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第 23 号	工事請負契約の締結について(ラック式乾燥調製貯蔵施設敷地造成工事)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第 24 号	工事請負契約の締結について(漁具倉庫施設整備工事(建築))	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 25 号	工事請負契約の締結について(漁具倉庫施設整備工事(電気設備))	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 26 号	工事請負契約の締結について(漁具倉庫施設整備工事(機械設備))	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 27 号	工事請負契約の締結について(木材製品生産拠点第 2 期建築工事)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 28 号	工事請負契約の締結について(町道請戸漁港小高瀬迫線道路改築工事(5 工区②))	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 29 号	工事請負契約の締結について(町道大平山来福寺東線道路改築工事(2 工区))	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 30 号	工事請負契約の締結について(浪江町一括受電設備工事)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第 31 号	売買契約の締結について(木材製品生産拠点生産機械設備第 2 期購入)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 32 号	物品購入契約の締結について(交流・情報発信拠点施設内什器備品購入)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 33 号	物品購入契約の締結について(交流・情報発信拠点施設内厨房機器購入)	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
議案第 34 号	物品購入契約の締結について(交流・情報発信拠点施設レジ機器及びシステム導入業務)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 35 号	工事請負契約の変更について(古堤ため池環境保全整備工事)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 36 号	工事請負契約の変更について(目倉沢ため池環境保全整備工事)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 37 号	工事請負契約の変更について(南迫ため池環境保全整備工事)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 38 号	工事請負契約の変更について(小和田ため池環境保全整備工事)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 39 号	工事請負契約の変更について(町道一里檀大町線橋梁整備工事(下部工))	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 40 号	工事請負契約の変更について(町道請戸漁港小高瀬迫線道路改築工事(2 工区))	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 41 号	工事請負契約の変更について(町道大平山来福寺東線道路改築工事(1 工区))	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 42 号	工事請負契約の変更について(請戸住宅団地造成工事)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 43 号	工事請負契約の変更について(町道小熊田宮田線道路改築工事)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第 44 号	工事請負契約の変更について(浪江浄化センター水処理施設修繕工事)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 45 号	委託に関する契約の変更について(浪江町棚塩産業団地整備事業業務委託(その 2))	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第 46 号	令和元年度浪江町一般会計補正予算(第 7 号)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2・3・4
議案第 47 号	令和元年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第 3 号)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 48 号	令和元年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第 3 号)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 49 号	令和元年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第 4 号)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 50 号	令和元年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算(第 2 号)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 51 号	令和元年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第 4 号)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 52 号	令和元年度浪江町後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 53 号	令和元年度浪江町水道事業会計補正予算(第 4 号)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 54 号	令和 2 年度浪江町一般会計予算	賛多	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	2・4・5
議案第 55 号	令和 2 年度浪江町文化及びスポーツ振興育成事業特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

議案番号	議案	議席番号 議決結果	○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 全賛…全員賛成で可決・認定・採択等 賛多…賛成多数で可決・認定・採択等 賛少…賛成少数で否決・不認定・不採択等																関連ページ
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
議案第56号	令和2年度浪江町国民健康保険事業特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	令和2年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	令和2年度浪江町公共下水道事業特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	令和2年度浪江町工業団地造成事業特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	令和2年度浪江町農業集落排水事業特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	令和2年度浪江町介護保険事業特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	令和2年度浪江町財産区管理事業特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	令和2年度浪江町後期高齢者医療特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	令和2年度浪江町水道事業会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第1号	議会改革特別委員会設置に関する決議(案)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会改革特別委員会委員の選任について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
発議第1号	福島第一原子力発電所構内に保管中のトリチウムを含む処理水の海洋放出に反対する決議(案)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
	委員会の閉会中の継続審査又は調査の申出について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和2年第1回臨時会の採決状況 (2月10日採決)

議案番号	議案	議席番号 議決結果	○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 全賛…全員賛成で可決・認定・採択等 賛多…賛成多数で可決・認定・採択等 賛少…賛成少数で否決・不認定・不採択等																関連ページ	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
議案第1号	浪江町立小学校及び中学校条例の一部改正について	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第2号	浪江町立学校給食共同調理場設置条例の一部改正について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	工事請負契約の締結について (交流・情報発信拠点スマートコミュニティ施設設備工事)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	土地の取得について	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	土地の取得について	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和元年度浪江町一般会計補正予算(第6号)	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



※佐々木恵寿議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わることはできません。
賛否同数の場合のみ「議長裁決」として表明します。(その場合は「裁」と記載)。

議会活動の経過報告 1月11日～4月10日

(定例会及び臨時会中の全員協議会・各委員会を除く)

1月

- 16日 行政視察受入対応(兵庫県川西市議会)
- 21日 産業・建設常任委員会行政視察
(～22日 宮城県名取市、福島県国見町・福島市・広野町・大熊町)
- 総務常任委員会行政視察
(～22日 群馬県南牧村・甘楽町)
- 23日 文教・厚生常任委員会行政視察
(いわき市・浪江町内)
- 24日 全員協議会視察
(復興牧場フェリスラテ) (福島市)
- 27日 県町村議会議員研修会 (郡山市)
- 28日 議会運営委員会
- 30日 全員協議会視察
(南相馬市議会・ロボットテストフィールド)
(南相馬市)

2月

- 5日 議会運営委員会
- 全員協議会
- 産業・建設常任委員会

- 10日 第1回臨時会
- 議会報編集特別委員会
- 12日 双葉地方広域市町村圏組合議会
保健衛生常任委員会 (富岡町)
- 13日 双葉地方広域市町村圏組合議会
消防厚生常任委員会 (富岡町)
- 14日 双葉地方広域市町村圏組合議会
総務常任委員会 (富岡町)
- 18日 全員協議会
- 25日 双葉地方町村議会議長懇談会(福島市)
- 26日 議会運営委員会
- 27日 双葉地方町村議会議員研修会(富岡町)
- 28日 双葉地方広域市町村圏組合議会定例会
(富岡町)

3月

- 5日 3月定例会(～17日)
- 27日 議会報編集特別委員会

4月

- 3日 議会報編集特別委員会
- 8日 議会報編集特別委員会

※定例会・臨時会の会議結果や本会議の出欠状況は町ホームページでもご覧になれます。



4 議員が質問

■紺野 榮重 (9ページ)

- (1) 新型コロナウイルスの件
- (2) 農業の問題
- (3) 山林除染と間伐の件
- (4) 特定復興再生拠点の件
- (5) 産業団地工場誘致の件

■渡邊 泰彦 (10ページ)

- (1) 町内の医療施設、介護施設について
- (2) 移住促進について
- (3) 町内の住宅について

■馬場 績 (11ページ)

- (1) 新型コロナウイルス対策と町の緊急対応について
- (2) 原発避難と浪江町の復興・再生の現状、浪江町総合計画（第2期について）
- (3) 防災・減災について
- (4) 公立学校の「一年単位変形労働時間制」について
- (5) 帰還困難区域の特定復興再生拠点整備事業について

■山本 幸一郎 (12ページ)

- (1) 特定復興再生拠点について
- (2) 学校跡地の利用について
- (3) 駅前開発または、駅裏開発の計画について
- (4) 復興牧場について
- (5) 町営住宅について
- (6) 仮称道の駅について

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員の質問・答弁を合わせて1000文字程度に要約しておりますので、ご了承ください。

町政と問

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、政治的姿勢を明らかにするものです。そのことにより、現行政策の変更、是正あるいは新規政策の採用などの効果があります。





● 紺野 榮重 議員 ●

Q 役場津島支所を再開することは最低限やるべきでは

A 活性化センターを中心に整備したほうが良いと、協議の段階です

今後の農政を問う

質 問 請戸右岸幹線用水路（末の森、大堀、請戸、青根場）は予定通り通水できるのか伺います。

農林水産課長 東北農政局災害復旧事務所が復旧作業を行っており、用水路は今年度中の復旧予定です。請戸右岸幹線用水路は令和3年からの通水となります。

質 問 ため池の復旧により予定通り通水できるか伺います。

農林水産課長 放射性物質対策工事の6か所のため池は、工期内に終わるように施行中です。

再質問 ため池の除染する基準、除染しなくてもいいため池を伺います。

農林水産課長 1kg当たり8000ベクレル以上は除染します。大日向、柏木迫、百間沢、金ヶ森です。

質 問 カントリーエレベーターの稼働時期、育苗センターの場所と稼働時期を伺います。

農林水産課長 令和3年9月を予定しています。育苗センターは現在調整中、稼働は令和

4年度内の完成に向け、準備を進めています。

質 問 新規就農者確保と支援、現在新規就農者は何人か伺います。

農林水産課長 浪江町民として農業を継続する意思を持つ新規就農者には、家賃や収入を補助する町単独事業を実施しています。認定新規就農者が6人、新規就農者が1人の合計7人です。

質 問 請戸、中浜、両竹の瓦礫片付け、除染計画を伺います。

農林水産課長 災害復旧と合わせて圃場整備を行い、1町区画で計画を進めています。

特定復興再生拠点の拡大概要を示すべきでは

質 問 特定復興再生拠点の3地区について、現在どのように進んでいるか伺います。

企画財政課長 平成29年12月に策定した復興再生計画に基づき、整備を進めています。3拠点とも、除染、解体を進めており、農事復興組合も年度内に設立される見込みです。

質 問 農業の再生では町内外からの通作を進める為の一時滞在施設の計画実現の見通しを伺います。

企画財政課長 農業者の意向を基礎として必要に応じて整備する計画です。

質 問 5年後は拠点拡大されるわけですが、町としての拡大概要について伺います。

企画財政課長 政府は拠点外について検討を進めるとしていますので、今後、政府の方針を受け、整備範囲等を検討していきます。

工場誘致を復興に結び付けるには

質 問 産業団地の工場誘致はどのように進めるのですか。

産業振興課長 経済産業省や県の企業立地課、イノベーション・コースト構想推進機構などとも連携して進めております。

質 問 工場誘致に対して雇用はどれくらい見込まれるか伺います。

産業振興課長 5年後を目途に、フォーアールエナジー(株)

人、静光産業(株)20人、(株)一路10人の予定です。木材製造拠点整備事業は30人から50人を予定しております。

質 問 産業団地の維持管理はどうなるのか伺います。

産業振興課長 事業者との契約は賃貸契約です。賃貸料を利用して道路、水路、周辺緑地の維持管理を行います。



津島活性化センター



● 渡邊 泰彦 議員 ●

Q 定住促進の施策は

A 定住推進係を新設設置し、強化します

医療介護体制について

質問 住民意向調査の結果から、帰還人口を増加させるためには、医療及び介護体制のさらなる充実が必要だと思いますが、町の考えをお尋ねします。

浪江診療所事務長 帰還人口を増やすためには、医療体制の整備は最重要案件と認識しています。

新年度は新たな常勤医と3年契約を継続する予定です。また、診療科目についても拡充できると考えています。さらには診療時間の延長も、医師と相談しながら進めていきたいと思っています。

介護福祉課長 介護施設の充実、町の基盤として必要不可欠です。町民のニーズが高いことも認識しています。避難指示解除後の平成29年度から、利用頻度の多いサービスの通所型と訪問型のサポートセンターを開設し、交流サロンや体操教室、見守り支援などを通して、高齢者の不安解消や介護予防に努めています。令和2年度に着工予定の介護関連施設では、居室介

護支援、訪問介護事業所、通所系の介護サービスの開設を計画しています。

移住促進事業について

質問 町の帰還人口は、1月末で1227人です。町は、移住促進事業の施策をさまざまな方法で実行して、定住人口を増やす考えはありますか。

企画財政課長 国の移住推進の方針につきましては、福島特措法の動きがあると認識しています。

町としては、移住促進については、係を作って推進する予定です。令和2年度からは、企画財政課の中に定住推進係を設置して、全庁的に定住推進に取り組みます。

町営住宅の建設について

質問 定住人口を増やすためには、帰還町民や移住者が住むための住宅が必要です。新たに

に町営住宅を整備する考えはありますか。

企画財政課長 現在、幾世橋住宅・幾世橋集合住宅・御殿南住宅は、ほぼ空き室がない状況です。

新たに町営住宅を早急に建設



移住・定住促進の基地、道の駅なみえ

することにつきましては、街中の居住促進、賑わいの創出、定住人口の増加、商業等への波及効果も合わせて期待できますので、住宅需要を見極めながら、建設のあり方を検討します。



● 馬場 績 議員 ●

Q 今年3月末で仮設住宅終了
町は仮設住宅の入居継続を県に強く要望すべき

A 供与期間終了後の継続入居を県に求める考えはありません

質問 仮設住宅入居者は、

福島・本宮・南相馬の3団地に6戸10人が入居し、借上げ住宅では517戸915人が入居しています。

県と町の意向調査によれば、12月末で301世帯(内帰還困難区域は43世帯)、23.4%が住宅確保の見通しが立っていません。町は仮設住宅の入居継続を県に強く要望すべきです。

生活支援課長

供与期間3月31日までの件は、国・県と関係市町村ですでに決定されています。住宅再建支援を進めてきており、期間終了後の継続入居を県に求める考えはありません。

質問

入居期限が来たら追いつくのですか。

生活支援課長

そうした状況になった場合は、入居者と話し合いを進めます。

水素製造拠点は、地域経済・雇用にどう結びつくのか

質問

東北電力の原発予定

地は、棚塩産業団地となり、その一角に「水素エネルギー製造拠点」として、独立行政法人NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)の事業が、東芝、東北電力、岩谷産業の共同体として、「イノベ構想」の名のもとに一大事業が進められています。水素製造拠点事業は地元参入・経済の再生・雇用にどう結びつくのですか。

産業振興課長

浪江の水素エネルギー研究フィールドの運営管理については、専門的・技術的知見が必要であり、受託企業が契約します。水素の運搬や清掃などは、地元参入があり得ると考えます。

町は帰還困難区域(整備拠点)の拡大について、「区域外」の計画を作成し、住民説明会の開催を

質問

現在の「第一ステージ」以外どうなるのか、不透明です。町は「区域外」の復興・整備計画を作成し、住民説明会を開催してください。

町長

今後、第二ステージ、第三ステージが始まるという保障は一切ありません。そういった中で、住民に対し責任ある説明ができるのか疑問であり、まず、国に働きかけをしながら対応を図ります。

質問

町役場津島支所の再開について、どう考えていますか。

企画財政課長

津島活性化センターでの業務再開を検討しています。



浪江町特定復興再生拠点整備事業661haのみ。拡大は不可欠です。



国道114号沿線でも住宅が見えない帰還困難区域(津島地区)



● 山本幸一郎 議員 ●

Q 駅周辺の開発は行われるのか

A 来年度から具体的な計画を立てていきます

質問 駅前だけでなく、駅裏開発を行う予定はありますか。又、アンケート調査は行いますか。

企画財政課長 駅裏の一部を含めた駅周辺の開発を計画する予定で、具体的な意思確認レベルの調査を行う予定です。

特定復興再生拠点の計画について

質問 集会所もしくは屯所を兼ねた集会所の計画があったが、どのように進んでいるかお伺いします。

企画財政課長 特定復興再生拠点計画は5年間の計画です。消防団や行政区等の意見を確認しながら検討していきます。

質問 帰還困難区域で復興拠点以外の建物解体を望む町民が多いが、検討はしていますか。

町長 里帰りのたびに朽果て、荒れ果てた状況を見るに忍びないと思っています。これからも国に解体ができるよう申し上げていきたいと思えます。

学校校舎もしくは敷地の利用について

質問 学校の敷地利用計画はどのようになっていますか。

企画財政課長 学校跡地利用について浪江町学校校舎等検討委員会からの答申に基づいて進めていきます。また、なみえ創成小中学校及び請戸小学校を除



歴史ある学校の利活用はいかに

き、校舎につきましては、町として利用する予定はありません。校舎を除く敷地は、幾世橋小学校と浪江中学校は防災コミュニティセンター、荏野小学校は防災コミュニティセンター及び水稲育苗施設の候補地として検討しています。大堀小学校はサケふ化施設の候補地の一つとして事前調査を行っています。

佐藤副町長 校舎等の利用に

関しては、比較的新しい大堀小学校と幾世橋小学校について、公募を行っていきたくと思えます。

町営住宅について

質問 町営住宅をすべて解体する予定かお伺いします。

住宅水道課長 建物被害調査を実施し、すべて半壊との結果が出ており、その結果を踏まえ環境省に解体申請の手続きを進めています。

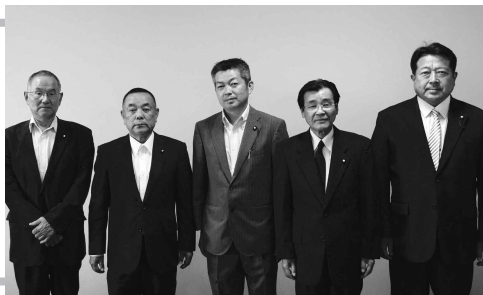
質問 個人的に壊れていないような建物に見えますが、リフォームして貸し出しする検討はしましたか。

住宅水道課長 改修には高額の費用が必要であり、現在のところ改修の予定はありません。

質問 帰りたくても住むところがなく帰れない町民もいます。町営住宅等を新たに建てる計画はありますか。

住宅水道課長 将来にわたる住宅需要を見極めながら、住宅建設のあり方を検討する必要があります。と考えています。

● 総務常任委員会 ●



委員長 山本幸一郎
副委員長 半谷 正夫
委員 紺野 則夫
松田 孝司
佐々木恵寿

総務課、企画財政課、住民課、生活支援課、津島支所、出納室が所管する案件を審議しています。

■ 住民課 ■ 仮設トイレ

問 帰還困難区域内の仮設トイレはどこに設置してあるのか。

答 主に集会施設に設置しており、室原地区2基、津島地区に22基設置しています。令和2年度からは、これに加えて大堀地区の陶芸の杜にも設置します。

■ 生活支援課 ■ 復興支援員

問 令和2年度の復興支援員事業の展開は。

答 いまだ多くの町民が県外に避難しており、町職員が直接対応することが困難な部分を担っていただきたいと考えています。令和2年3月末で仮設、借上住宅の無償供与が終了となることから、今後は生活相談や福祉に重点を置いた事業を検討していきます。

■ 総務課 ■ 浪江町表彰条例の一部改正

問 具体的にどう改正するのか。

答 震災から10年目の節目を迎えるにあたって、主に農林水産業や商工業の帰還事業者などで、町の復興施策の推進に貢献し、かつ、町民の復興意欲の向上に貢献した個人、組合、団体などを表彰できるように改正するものです。

■ 総務課 ■ 非常用持出袋の配布事業

問 非常用持出袋の配布事業が令和2年度当初予算に計上されているが、どのようなものを配布するのか。

答 町内に居住している方を対象に、町で策定したハザードマップや懐中電灯などを入れて、世帯ごとの配布を予定しております。なお、ハザードマップには、非常時に必要な物資の例が記載されているので、各世帯での備えをお願いします。



身近になっている災害に備えて

■ 企画財政課 ■ 移住・定住相談窓口

問 令和2年度から企画財政課内に定住推進係が新設されるが、それでも委託業務は必要か。

答 まちづくり会社に委託していますが、令和2年度からは企画財政課でも相談窓口としてしっかりとやっていきます。相談体制を充実することにより、少しでも相談していただく機会を増やせればと考えています。

■ 企画財政課 ■ 国勢調査

問 国勢調査の基準日、調査内容、方法などは。

答 国勢調査は10月1日が基準日です。調査範囲は浪江町内であり、調査員の確保が課題ですが、町職員を活用するなどして、調査員を確保していきます。

■ 企画財政課 ■ 駅周辺整備

問 駅周辺の整備について、町はどのような計画をしているのか。

答 具体的な整備計画を令和2年度中に策定する予定です。用地等についても具体的に決めることになるため、住民の皆様の意思確認をしていきたいと考えています。

● 産業・建設常任委員会 ●

産業振興課、農林水産課、住宅水道課、まちづくり整備課、農業委員会が所管する案件を審議しています。

委員長 平本 佳司
副委員長 高野 武
委員 佐々木勇治
山崎 博文
佐藤 文子



■住宅水道課■ 請戸住宅団地

問 住宅団地の応募状況は。

答 現在、26戸中9戸の応募があります。完成まで状況を見ながら再募集を考えています。

■住宅水道課■ 生活再建支援金

問 震災前の町営住宅入居者の生活再建支援金はどうなるのか。

答 令和2年度には解体が始まり、解体が終了すれば申請することができます。

■農林水産課■ カントリーエレベーター

問 町内2か所に建設予定のカントリーエレベーターで、丸ビン式とラック式の違いは。

答 丸ビン式（苜宿地区）は米の品種ごとに同一タンクに入れ乾燥するもので、8基のタンクを整備します。ラック式（棚塩地区）は、食味や品質ごとに小分けで乾燥するもので、用途やでき具合によって振り分けすることができます。

■まちづくり整備課■ 道路整備

問 国道6号から東の通称高瀬街道は、道路の掘り返しで、かなりの段差があるが、今後の舗装計画は。

答 埋設工事が終わったので、秋口には、全面舗装工事を予定しています。



路面の傷みが激しい高瀬街道

■まちづくり整備課■ 防犯灯

問 新年度予算に計上している、LED防犯灯の設置場所と数は。

答 国道114号の拡幅工事に伴い、10基を新設します。

■農林水産課■ 里山再生モデル事業

問 今年度で終了する里山再生モデル事業の成果と今後の動きは。

答 際立った成果がなかったため、モデル事業から本事業として、国の責任にて里山再生に向け、上立野地区に加え、いこいの村周辺里山も行うよう要望しています。

■産業振興課■ 水素

問 町独自での水素エネルギー実証実験の目的と場所は。

答 水素の最適輸送と安全性、利活用モデルを構築するためのもので、浪江中学校グラウンドで実施予定です。

● 文教・厚生常任委員会 ●



委員 長 渡邊 泰彦
副委員 長 石井 悠子
委 員 大浦 泰夫
泉田 重章
紺野 榮重
馬場 績

教育委員会、健康保険課、介護福祉課、浪江診療所、仮設津島診療所が所管する案件を審議しています。

■ 仮設津島診療所 ■ 診療所の継続

問 二本松市にある仮設津島診療所の継続について、町民から不安の声があるが、どのように考えているのか。

答 医師をはじめとする医療スタッフ確保等の課題もありますが、可能な限り診療を続けていきたいと考えています。

■ 浪江診療所 ■ 診療体制

問 4月からの常勤医師の体制はどのようになっているか。

答 4月から新しい常勤医師が赴任する予定です。診療日・時間について医師と相談しながら、町民がより安心できる診療体制を構築できるよう検討していきます。

■ 介護福祉課 ■ 介護関連施設（ふれあいセンターなみえ跡地）

問 今後の計画、建設予定は。

答 令和2年着工、令和3年度内に開設を目指しています。震災前の「ふれあいセンターなみえ」のような機能を持った施設を想定しており、訪問介護、デイサービスの提供を予定しています。



介護関連施設建設予定地

■ 健康保険課 ■ 新型コロナウイルス対策

問 どのような対策を考えているのか。

答 県内での新型コロナウイルスの感染拡大が心配されることから、令和2年3月9日に町長を本部長とする新型コロナウイルス感染症対策本部を設置しました。また、設置に伴い、相談窓口を健康保険課に設けましたので、新型コロナウイルスに関して不安やご不明な点があれば、お問い合わせください。



新型コロナウイルス相談窓口

■ 教育委員会 ■ 新型コロナウイルス 拡大防止による臨時休業

問 全国の約400校の学校では、独自の判断により生徒の登校を再開していますが、町では、学校の再開について独自判断の考えはあるか。（3月9日時点）

答 独自の判断も検討したいと思いますが、臨時休業は感染拡大防止や感染症リスクを最小限に抑えるためのものです。足並みを揃え、地区全体で感染防止に努めていくのも重要であると考えます。また、臨時休業に伴い、保護者の就労の関係で、子どもの預かり等が必要な場合は、「放課後なみえ子どもクラブ」でお預かりします。

●産業・建設常任委員会視察研修報告●

視察者

委員長 平本 佳司
副委員長 高野 武
委員 佐々木勇治
山崎 博文
佐藤 文子

目的

東日本大震災及びこれに伴う原発事故から8年が経過し、当町ではさまざまな復旧・復興事業が進められている。その中で、来年度オープンする交流・情報発信拠点施設の指定管理予定者の決定、棚塩産業団地における酪農復興牧場計画の浮上、新たな特産品の可能性等の取り組みについて、道の駅等、牧場及び農場運営の先進地事例を視察研修し、当町の事業の推進や体制構築に資するため。

視察日

令和2年1月21日(火)～1月22日(水)

視察先及び視察内容

●道の駅あつかしの郷(福島県国見町)・道の駅の運営について●

交通の要所にも位置し、仙台圏にも近く、桃等の目玉商品があることが集客にも影響しているが、出荷組合は設立以来オープンまでの2年間にかけ、月2回模擬店舗での出店でシミュレーションをし、直売所で売れる野菜の試験栽培や実験栽培などの各種研修会、シンポジウムを開催し、運営に関する調査研究を十分に行い、オープンに向け入念な準備をしてきているが、経営コンサルタントの導入には否定的であった。

当町では施設ありきで進んでいるが、未だにテナント・従業員募集の段階では準備不足の感が否めず、先々の不安解消のためにも官民一体での早急な対応が求められる。



●復興牧場(株)フェリスラテ(福島県福島市)・牧場の運営について●



乳牛飼養頭数は約600頭(常時搾乳約500頭)で、年間約5000t(日量約15t)の生乳生産量がある。施設内は清掃が行き届き、冬という時節柄なのか、臭気もほとんど気にならなかったが、夏場のハエ・蚊の発生や臭気等について、近隣住民の話を聴く機会も必要だと感じた。全面舗装で雨水の地下浸透がない分、大雨等による糞尿の流出はないか疑問だが、清潔に保てる面もあり、牛の鳴き声はほとんどなく、搾乳や授乳量は首・足のセンサーで一頭ごと掌握され、人員削減にも寄与している。現在24人の従業員で運営しており、当町に開設の場合には常駐従業員は町内に居住するとのことで人口増にもつながる。メリットばかりの説明であったため、今後、デメリットや課題などの検証が必須であると考えます。

●(株)ネクサスファームおおくま(福島県大熊町)・いちご栽培の取り組みについて●

事業をハウスイチゴ栽培に特化し、夏秋イチゴと冬春イチゴを組み合わせた周年栽培・周年出荷による安定供給、雇用維持と環境生育、作業データを蓄積分析し、作業改善、経営に最適な生産体制と持続可能な農業モデルの確立と次世代農業経営者の育成を目指しており、社員10人・パート7人で週休二日残業なし、所得は一般社会と同等に設定されていた。工場長は一般公募で農業と無縁の環境からの参加だが、研修後に生産モデルを構築したとの説明の中で特に、OAを駆使した各データの蓄積とその分析を行い、次なる経営戦略について調査・研究を実施し次世代農業経営者にもデータを開示するとのことにも感銘を受け、今後の活動、経過を注視したい事業であった。



総括

今回の研修先の多くでは、異口同音に施設の開店までは約2年の準備期間があり、その間に人材育成、研修等に取り組んだとのことであり、当町で整備中の(仮称)道の駅のように建物を造設してから業者を募集するのでは、今後の経営が危ぶまれ、成功のためには官民一体となつての協力が不可欠と感じた。また、経営コンサルタントについては、経費の割に効果がないとのことで、必要性は排除していた。さらに、地元再生に賭ける熱意と意気込みには感銘すると同時に、早めの人材育成が成功の秘訣と痛感した。

※上記以外に、(株)かわまちてらす閉上(宮城県名取市)、(株)広野町振興公社(広野町)も視察していますが、紙面の都合上、抜粋の形で掲載していますので、ご了承ください。

● 総務常任委員会視察研修報告 ●

視察者

委員 長 山本幸一郎
副委員 長 半谷 正夫
委員 紺野 則夫
佐々木恵寿
松田 孝司

視察日

令和2年1月21日(火)～1月22日(水)

視察先及び視察内容

● 群馬県南牧村 ● 移住定住促進の取り組み状況について ●

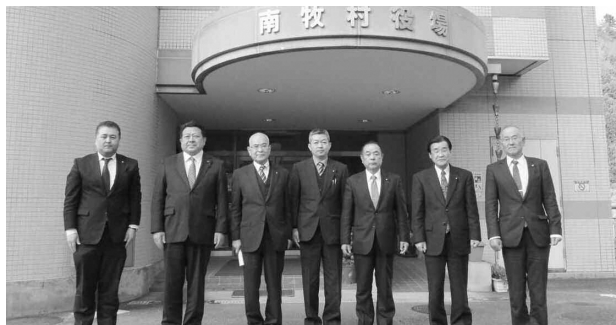
南牧村は長野県との県境に位置し、高齢化率日本一の山間の村であり、人口減少、過疎に歯止めをかけるため、空き家改修事業、担い手促進住宅、なんもく暮らし体験民家など、国庫補助事業を上手く活用した南牧村ならではの移住定住政策が展開されていた。

また、子育て世代対策が充実しており、結婚祝い金の支給、学校給食の全額免除、大学・短大への奨学金の貸与などで若者世代の人口増加のための工夫をしている。特に資格取得など一定の条件はあるが、卒業後、村民として在住している限り奨学金の返還を免除しており、浪江町も大いに参考とすべきと考える。

説明や質問に際し、村長自らにご対応いただくなど、人に共感していただくためには、村役場職員に任せただけではなく、村長自らが村の魅力をトップセールスしていることが強く感じられた。自治体の規模は異なるが、浪江町にもこうした姿勢が必要ではないかと感じた。

目的

避難指示の一部が解除となり3年近く経過するが、浪江町への町民の帰還は思うように進んでいるとは言えないのが現状である。このため、町民の帰還促進や流入人口の増加を図るため、移住・定住促進施策の先進事例や、地域資源を活用した魅力ある町づくりの事例を学び、今後の政策提言等に反映することを目的とするため。



● 群馬県甘楽町 ● 歴史を活用した町づくりについて ●



織田宗家ゆかりの城下町として観光に力を入れており、名水百選にも選ばれている雄川堰や国指定名勝「楽山園」などの歴史的、文化的資産を有している。雄川堰沿いの通りは歴史的建造物が多く残っており、無電柱化など景観を損なわないように工夫されている。また、地区の住民達が定期的に水路の清掃などの維持管理を行っており、長く地元から愛されている史跡であると感じた。

歴史的資産を活用した町づくりは、町民の帰還意欲の促進や町外の人々を町に呼び込む有効な手段と考えるが、そのためには町が有している歴史的資産への再評価や新たな歴史的資産の掘り起こしが課題であると感じた。

また、甘楽町は以前、合併に関する住民アンケートを実施し、その結果に基づき合併をしなかった。研修の際、地元紙の記事を資料として提供されたが、記事の中で甘楽町長が「『だめだ』と思わない限り、ムラはなくなる。小さな町村が頑張るのが本来の国づくり。個性を磨き上げることが大切だ」と語っており、今後の浪江町の方向性について深く考えさせられた。

平成31(令和元)年度 浪江町議会の活動状況報告

平成31(令和元)年度の本町議会活動状況を報告いたします。

なお、掲載については、本会議(定例会・臨時会)、全員協議会、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の出席としています。

双葉地方広域市町村圏組合議会や各種行事・研修会などへの出席は掲載しておりませんので、ご了承ください。

○：出席 ☆：所属外による出席 ●：欠席 公：公務による欠席 -：委員会等に所属しない議員

開催年月日	議席番号	会議名称	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			大浦 泰天	石井 悠子	高野 武	佐々木 恵寿	半谷 正夫	紺野 則夫	佐々木 勇治	平本 佳司	山崎 博文	渡邊 泰彦	松田 孝司	山本 幸一郎	泉田 重章	紺野 榮重	佐藤 文字	馬場 績
H31. 4. 5		議会報編集特別委員会(第163号第2回)	-	●	○	-	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
H31. 4.10		議会報編集特別委員会(第163号第3回)	-	○	○	-	○	●	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
H31. 4.12		議会運営委員会	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	○	○	☆	○	-
H31. 4.18		産業・建設常任委員会(～19日 郡内視察)	-	-	○	●	-	-	-	○	○	-	-	-	-	☆	-	○
H31. 4.23		議会運営委員会	-	-	-	☆	-	-	-	○	○	○	-	○	○	☆	○	-
H31. 4.26		全員協議会視察(郡内及び町内復興状況)	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 5. 8		令和元年第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 5.14		全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 5.20		議会運営委員会	-	-	-	☆	-	●	-	○	☆	●	-	○	-	○	○	-
R 1. 5.30		議会運営委員会	-	-	-	☆	-	-	-	○	☆	○	-	○	○	○	○	-
R 1. 6. 4		令和元年6月定例会(第1日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 6. 4		議会報編集特別委員会(第163号合評)	○	○	○	-	●	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 1. 6. 5		令和元年6月定例会(第2日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 6. 5		全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 6. 6		常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 6. 7		常任委員会	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-
R 1. 6.11		全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 6.19		議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	○	☆	○	-	○	-	○	○	-
R 1. 6.25		産業・建設常任委員会(町内視察)	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-
R 1. 6.27		国道114号整備促進特別委員会	○	-	○	☆	-	○	○	-	☆	-	-	○	○	-	-	○
R 1. 6.28		議会報編集特別委員会(第164号第1回)	○	○	○	-	●	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 1. 7. 3		議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	○	☆	○	-	○	-	○	○	-
R 1. 7. 3		全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 7. 3		文教・厚生常任委員会	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	●	○	-	○
R 1. 7. 5		議会報編集特別委員会(第164号第2回)	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 1. 7.10		議会報編集特別委員会(第164号第3回)	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 1. 7.18		国道114号整備促進特別委員会(川俣町・町内視察)	○	-	○	-	-	●	○	-	☆	-	-	○	○	-	-	○
R 1. 8. 1		議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	○	☆	○	-	○	-	○	○	-
R 1. 8. 7		議会報告会(浪江町)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
R 1. 8. 7		議会報編集特別委員会(第164号合評)	●	○	○	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 1. 8. 8		議会報告会(二本松市)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 8.19		議会報告会(福島市)	-	-	-	○	○	○	-	☆	☆	☆	○	公	-	☆	-	-
R 1. 8.20		議会報告会(いわき市)	-	-	○	☆	-	-	○	○	○	☆	-	-	☆	☆	○	-
R 1. 8.22		議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	○	☆	○	-	○	-	○	○	-
R 1. 8.22		全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 8.22		議会報編集特別委員会	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 1. 8.23		議会報告会(郡山市)	○	○	-	☆	-	-	-	☆	公	○	-	☆	-	公	-	○
R 1. 9. 3		議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	○	☆	○	-	○	-	○	○	-
R 1. 9.10		令和元年9月定例会(第1日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 9.10		議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	○	☆	○	-	○	-	○	○	-
R 1. 9.11		令和元年9月定例会(第2日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 9.11		全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 9.12		常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 9.13		常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 9.18		全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 9.19		令和元年9月定例会(第3日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1. 9.20		令和元年9月定例会(第4日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

開催年月日	会議名称	議席番号															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		大浦 泰夫	石井 悠子	高野 武	佐々木 恵寿	半谷 正夫	紺野 則夫	佐々木 勇治	平本 佳司	山崎 博文	渡邊 泰彦	松田 孝司	山本 幸一郎	泉田 重章	紺野 榮重	佐藤 文字	馬場 績
R 1. 9.30	議会報編集特別委員会 (第165号第1回)	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 1.10. 1	文教・厚生常任委員会行政視察 (～3日 岩手県・宮城県)	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	○
R 1.10. 4	議会報編集特別委員会 (第165号第2回)	○	○	○	-	●	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 1.10. 7	議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	○	☆	○	-	○	○	☆	○	-
R 1.10. 8	議会報編集特別委員会 (第165号第3回)	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 1.10.10	議会報告会 (新潟県)	-	-	○	○	-	-	-	○	公	○	○	-	-	○	○	○
R 1.10.11	令和元年第3回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1.10.11	議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	○	☆	○	-	○	○	☆	○	-
R 1.10.11	国道114号整備促進特別委員会	○	-	●	☆	-	○	○	-	☆	-	-	○	○	-	-	○
R 1.10.15	議会報編集特別委員会	●	●	○	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 1.10.21	総務常任委員会	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
R 1.10.25	産業・建設常任委員会	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-
R 1.11.19	議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	○	☆	○	-	○	○	☆	○	-
R 1.11.19	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1.11.25	議会報編集特別委員会 (第165号合評)	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 1.11.26	議会報告会 (文教・厚生常任委員会)	●	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	●
R 1.11.26	議会報告会 (産業・建設常任委員会)	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-
R 1.11.28	議会報告会 (総務常任委員会)	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
R 1.11.29	全員協議会	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1.12. 5	議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	○	☆	○	-	○	○	☆	○	-
R 1.12.10	令和元年12月定例会 (第1日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1.12.11	令和元年12月定例会 (第2日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1.12.11	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1.12.12	常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1.12.13	常任委員会	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-
R 1.12.17	議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	○	☆	○	-	○	-	○	○	-
R 1.12.18	令和元年12月定例会 (第3日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1.12.18	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1.12.19	令和元年12月定例会 (第4日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 1.12.26	議会報編集特別委員会 (第166号第1回)	○	○	○	-	●	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 2. 1. 7	議会報編集特別委員会 (第166号第2回)	●	○	○	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 2. 1.10	議会報編集特別委員会 (第166号第3回)	●	●	○	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 2. 1.21	産業・建設常任委員会行政視察 (～22日 宮城県名取市、福島県国見町・福島市・広野町・大熊町)	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-
R 2. 1.21	総務常任委員会行政視察 (～22日 群馬県南牧村・甘楽町)	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
R 2. 1.23	文教・厚生常任委員会 (いわき市、町内視察)	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	○
R 2. 1.24	全員協議会視察 (福島市 復興牧場フェリスラテ)	●	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 2. 1.28	議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	●	☆	○	-	○	-	○	○	-
R 2. 1.30	全員協議会視察 (南相馬市 南相馬市タブレット議会、ロボットテストフィールド)	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
R 2. 2. 5	議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	○	☆	○	-	○	-	○	○	-
R 2. 2. 5	全員協議会	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 2. 2. 5	産業・建設常任委員会	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-
R 2. 2.10	第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 2. 2.10	議会報編集特別委員会 (第166号合評)	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
R 2. 2.18	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 2. 2.26	議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	○	☆	○	-	○	-	○	○	-
R 2. 3. 5	令和2年3月定例会 (第1日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 2. 3. 5	議会運営委員会	-	-	-	☆	-	○	-	○	☆	○	-	○	-	○	○	-
R 2. 3. 6	令和2年3月定例会 (第2日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 2. 3. 6	全員協議会	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 2. 3. 9	常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 2. 3.10	常任委員会	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	○	○
R 2. 3.12	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 2. 3.16	令和2年3月定例会 (第3日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 2. 3.17	令和2年3月定例会 (第4日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 2. 3.27	議会報編集特別委員会 (第167号第1回)	○	○	○	-	●	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-

町民の声



豊田 伸一さん
(権現堂)

これからの 課題に思う

東日本大震災、福島第一原子力事故から9年が経ちました。あれから町長さんはじめ、町議会議員、役場職員の皆様、そして私達浪江町民は、この9年間、先の見えない中で長期避難生活でいろいろな局面に直面し、翻弄され、否応なしに決断を迫られ、右往左往しながら、苦渋の決断をし現在に至っております。時間の経つのは、長かったのか短かったのかわかりませんが本当に早いものと感じております。

私は震災前まで、浪江郵便局前でヘアサロンを経営しておりました。避難先を転々として苦渋の決断の連続で、現在、郡山市で事業再開し浪江町民のお客様はじめ原発事故で避難しているお客様と避難生活での諸問題など情報交換、交流の場としても営業させていただいております。本当に感謝しております。

そんな中、先日、昔の裸参りのビデオを見つけました。浪江神社でお祓いして、旧役場通りを歩き、下町をスタートして下町通り、新町通り、元町通り、本城通り、浪江駅前、そして駅通りを走りぬけ、東邦銀行前で終了し、びしょびしょになった裸参りの参加者たち、当時の街並み、水をかける大勢の町民方々が映し出され、懐かしく想い、「生まれ育った浪江町は、本当によかったな」と改めて思いました。あの光景は、二度と見る事ができません。本当に悲しいものです。

「町民の声」に掲載する 原稿を募集しています。

議会に対するご意見、要望、感想等をお寄せいただける方は、浪江町議会事務局（☎0240-34-0254）または、議会報編集特別委員にご連絡ください。

出す事、農地及び解体された空き地の維持、管理問題、町の復興計画（駅前と権現堂地区、役場を中心にコンパクトシティ作りなど）、企業誘致問題、帰還された約1300人の町民での町財政、行政運営、町議会運営、転出された町民との今後の課題など、また国の震災10年後からの復興支援とその内容など。そして何と云っても原発の廃炉が順調に行くのか！

町議会議員の皆様には、今後とも浪江町の為にご尽力いただきたいとお願ひしたいと思います。

編集後記

浪江町に戻り早1年、日々変わりゆく復興の現場を見ながらの生活、あの震災から一区切りの10年目に入り、何ができるのか手探りの議会活動ですが、少しでも町民が帰って来たいと思える様な環境づくりを模索しております。

今年は例年になく暖冬でしたが、新型コロナウイルスの影響で、さまざまな行事やオリンピック・パラリンピックも中止・延期となり、生活にも暗い影を落としています。せめて気持ちだけは明るく前向きにいきたいと思います。(高野)

発行責任者

議長 佐々木 恵 寿

議会報編集特別委員会

委員長 松田 孝 司

副委員長 大浦 泰 悠 司

委員 石井 悠 正 佳

委員 高野 正 佳

委員 高平 正 佳

委員 高平 正 佳

